

3 いつまでも健康で安心して暮らせるまち

- 新規** ねんりんピック開催の準備を行います(高齢者支援の推進) 150万円
令和8年11月に開催される「第38回全国健康福祉祭埼玉大会(ねんりんピック彩の国さいたま2026)」において、幸手市は囲碁の会場となります。令和7年度、市は実行委員会を立ち上げ、大会運営の準備やリハーサル大会を実施します。
- 継続** 高齢者向けデジタルスポーツを実施します(高齢者支援の推進) 49万4千円
デジタルスポーツをとおして、外出の機会の増加や交流の創出、認知症やフレイルの予防を図ります。



4 安全・安心で環境にやさしいまち

- 新規** 幸手市庁舎整備基本計画を策定します(防災体制の推進) 1,576万2千円
市民の安全・安心の確保と、より利便性の高い庁舎の整備に向け、令和8年度までの2か年をかけて「幸手市庁舎整備基本計画」を策定します。令和7年度は、庁舎の導入機能や規模の検討などを行います。
- 新規** 九都県市合同防災訓練を実施します(防災体制の推進) 2,009万円
大規模災害時における九都県市、県内市町村、防災関係機関の相互の連携と支援を受ける体制の強化を図るとともに、住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指し、県営権現堂公園2号公園(ハッピー公園)をメイン会場とした九都県市合同防災訓練を埼玉県と共同で実施します。



5 にぎわいと活力あふれるまち

- 新規** 有機農業への転換や有機農業を継続的に取り組む生産者などを支援します!(地域農業の推進) 345万円
地域農業の持続的な発展を図るため、環境負荷の低減に効果の高い有機農業への転換および有機農業を継続的に取り組む生産者を支援します。また、社員食堂などで幸手産有機米を使用する市内事業所に対し、その購入経費の一部を補助します。



6 だれもが快適に暮らせるまち

- 新規** 道の駅総合複合施設の整備に向けた準備を行います(計画的な土地利用) 450万円
惣新田幸手線バイパス周辺エリアの市場性などの基礎的な調査をもとに、道の駅を核とし、周辺農業資産との連携等を視野に入れた総合複合施設の整備を行うため、構想の策定を行います。
- 新規** 次期地域公共交通の検討を行います(公共交通の利便性の確保) 563万4千円
市内循環バスの現在の運行が令和8年12月に終了することに伴い、令和9年1月以降に市が運行する公共交通について検討します。



7 市民の信頼に応える行財政運営を推進するまち

- 新規** シティプロモーション映画を製作します(情報発信・情報共有の充実) 3,000万円
令和8年10月1日に市制施行40周年を迎えるにあたり、シティプロモーション映画を製作します。
- 新規** キオスク端末を導入し、窓口サービスの向上を図ります(効率的な行政運営) 842万円
マイナンバーカードを利用して各種証明書が取得できる行政キオスク端末を市役所1階ロビーに設置します。申請書類の記入は不要で、窓口が混雑していても、自身で簡単に証明書を取得できるようになります。

令和7年度の事業の一部を紹介しています。詳細は、「予算書」「予算のポイント」「予算概要」をご覧ください。市役所情報公開コーナー、各公民館、図書館(本館および香日向分館)、市ホームページにて閲覧いただけます。

令和7年度 幸手市 施政方針

幸手市長 木村 純夫

予算編成にあたって

令和7年1月の内閣府月例経済報告によると、景気は一部に足踏みが見られるものの、全体としては緩やかに回復しており、先行きとしては、「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復が続くことが期待されています。」

ただし、欧米の高金利や中国の不動産市場の停滞など、海外の経済状況が日本の景気に悪影響を及ぼすリスクがあります。物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域などの情勢、金融資本市場の変動などにも注意が必要であるとされています。

当市においては、市税の増収を見込むものの、歳出面についても、物価高騰による経費の増加や高齢化の進行による社会保障関係経費の大幅な増加などを見込んでいます。

減災、防災対策などの市民の生活を守る事業を着実に実施していく必要があります。学校統廃合や庁舎整備など、多額の財源を必要とする事業についても着実に実行し、幸手の未来を創るための「投資」も積極的に行う必要があります。

このため、令和7年度は、国の動向や経済情勢を注視するとともに、広い視野で市民のニーズを把握し、効果的、効率的に財源を配分して、過去最大規模となる予算を編成しました。

令和7年度の主な施策と予算額

令和7年度に実施する主な事業と予算額を第6次幸手市総合振興計画の7つの大綱ごとに紹介します。

1 子どもがいきいきと育ち、子育てしやすいまち

- 新規** こどもの居場所づくりを支援します(子ども支援の充実) 305万1千円
こどもの健やかな成長をサポートできるよう、安心・安全なこどもの居場所づくりを支援します。
- 継続** 放課後児童クラブを運営します(子育て環境の整備) 1億3,854万5千円
小学校児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブ12か所の運営を行います。令和7年度から指定管理者制度を導入し、サービスの充実に努めます。
- 継続** 再編に向けて学校施設を整備します(学校教育環境の整備) 5億9,883万1千円(令和6年度からの繰越含む)



令和9年4月の学校再編に向けて、学校施設の整備を行います。令和7年度は、上高野小学校・東中学校の体育館の改修と空調設備を設置する工事を行います。また、上高野小学校校舎の設備更新工事を行うほか、東中学校の校舎を増築・改修するための実施設計を行います。

2 市民が学び、市民が活躍できるまち

- 継続** さくらマラソン大会を実施します(社会教育の充実) 460万円
生涯スポーツの推進をめざすとともに、「さくらのまち幸手市」のイメージアップを図るため、幸手市さくらマラソン大会の運営費を補助します。

